

2 環境教育の前に大切なこと ——ドイツの教育

環境教育をすすめる側にとって、未来の世界がどのようにあるべきかをイメージすることが問われています。現在、世界で起こっているグローバル化（世界をひとつとする動き）と競争主義、経済効率第一主義によって、貧富の差が極端にひろがり、地球環境の危機をむかえていることは前提として理解されるでしょう。

●全員参加で進められる授業

ドイツでは、「持続可能な開発をしていく社会」が提案され、この社会づくりのための新しい教育が2003年から積極的にはじめられました。地球の持続可能性をおびやかす問題に対して計画をたてて取りくみ、解決方法を見つける授業プログラムがつくられています。

私は毎年、日本から高校生をつれてドイツの環境教育を学ぶ研修旅行に行きます。日本の高校生たちは、短い期間ですが、ドイツの高校生の家でホームステイをし、学校の授業も受けてドイツ人の生活を体験します。

そこで日本の高校生たちがおどろくのは、先生が一方的に授業をすすめるのではなく、じっくり考えてほぼ全員が発言し、お互いに対等にしっかり意見をいいあい、その授業の課題に全員で取りくむようになっていくことです。

答えを先生から聞くのではなく、課題を解決するための考え方や方法をみんなで追求していくという授業でした。この話し合いの結果、先生の答えよりももっといい答えが引きだされることもあります。自分がクラ



▲シュバイツァー小学校の授業風景

スでも、社会でも堂々と意見をいい、まちがいをおそれず、相手の意見も大切にしているドイツ人高校生の姿に日本の高校生は圧倒されます。

身のまわりにおこっていることも自分のこととしてとらえたり、人の考え方のよいところから学ぼうという意識がドイツの学校教育の基本にあるのです。

●行動におこして解決していく土台づくり

自分たちが社会とかかわり、行動をおこして、さまざまな問題を解決していくという環境教育がおこなわれています。

どうしたら地球全体でおこっているさまざまな問題を解決していけるかということが関心や意欲が動機になって、具体的な行動がおこります。高校生がゴミの問題で自分たちの考えを主張するためにデモをしたり、市庁舎に意見をいいいく様子が教科書に取りあげられています。考えたり討論するだけでなく、行動することの大切さが示されています。



▲天気・大気の授業では、手づくりの実験装置が多くつかわれている



▲生態池では、スタッフはふたりだが、一般の大人が多く参加して授業がおこなわれている



▲幼稚園での授業風景



▲高校理科の教科書
ゴミ問題に対して、つかい捨てるカンの販売をやめるようデモをする高校生
ゲテンゲン市庁舎に高校生がつり下げた2万個のあきカン

- ①あなたの地域のゴミリサイクル業のレベルはどれくらい?
- ②地域のゴミ処理方法についてしらべてください
- ③地域のゴミが現在、未来にわたって焼却されるのかどうかしらべ、賛成が反対かをのべなさい



▲ワシントン条約違反の密輸品は、取りあげられた後は、野生動物についての教育プログラムなどの教材となる